



資産運用している人向け講座

**なぜ、NISAの枠が拡充され
非課税保有期間が無期限に変更されたのか？
その背景・・・**

資産運用立国実現プラン(国が本気で動き出した！)

個人投資拡大⇒企業の成長投資

⇒配当・キャピタルゲイン拡大

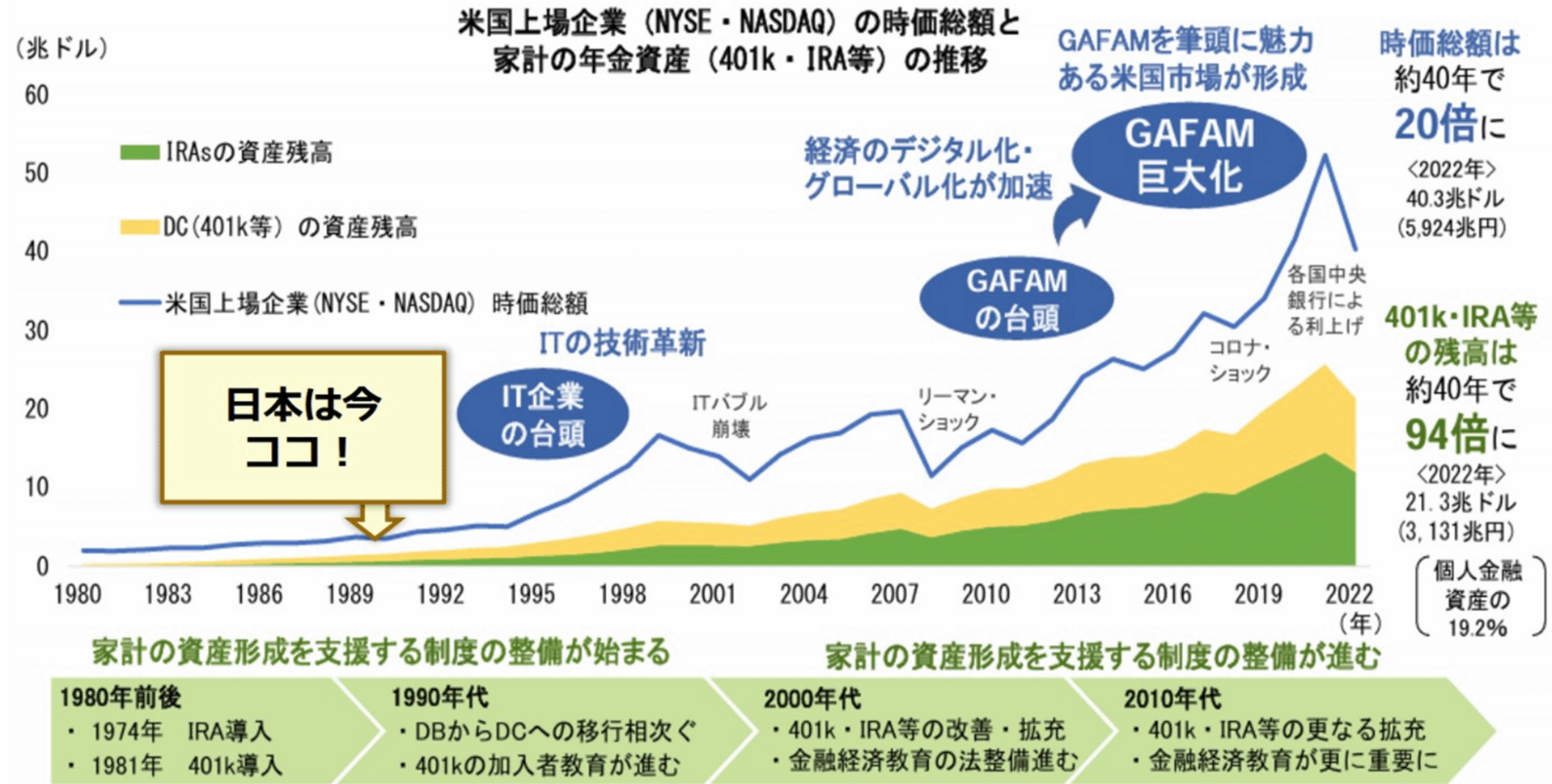
⇒個人の消費が増える⇒企業の更なる成長

⇒「成長と分配の好循環」⇒個人投資拡大

日本の老後の未来は・・・

iDeCo≡確定拠出年金、NISAで積み上げたお金が
日本国民の老後の生活資金の
大部分を占めるように！！

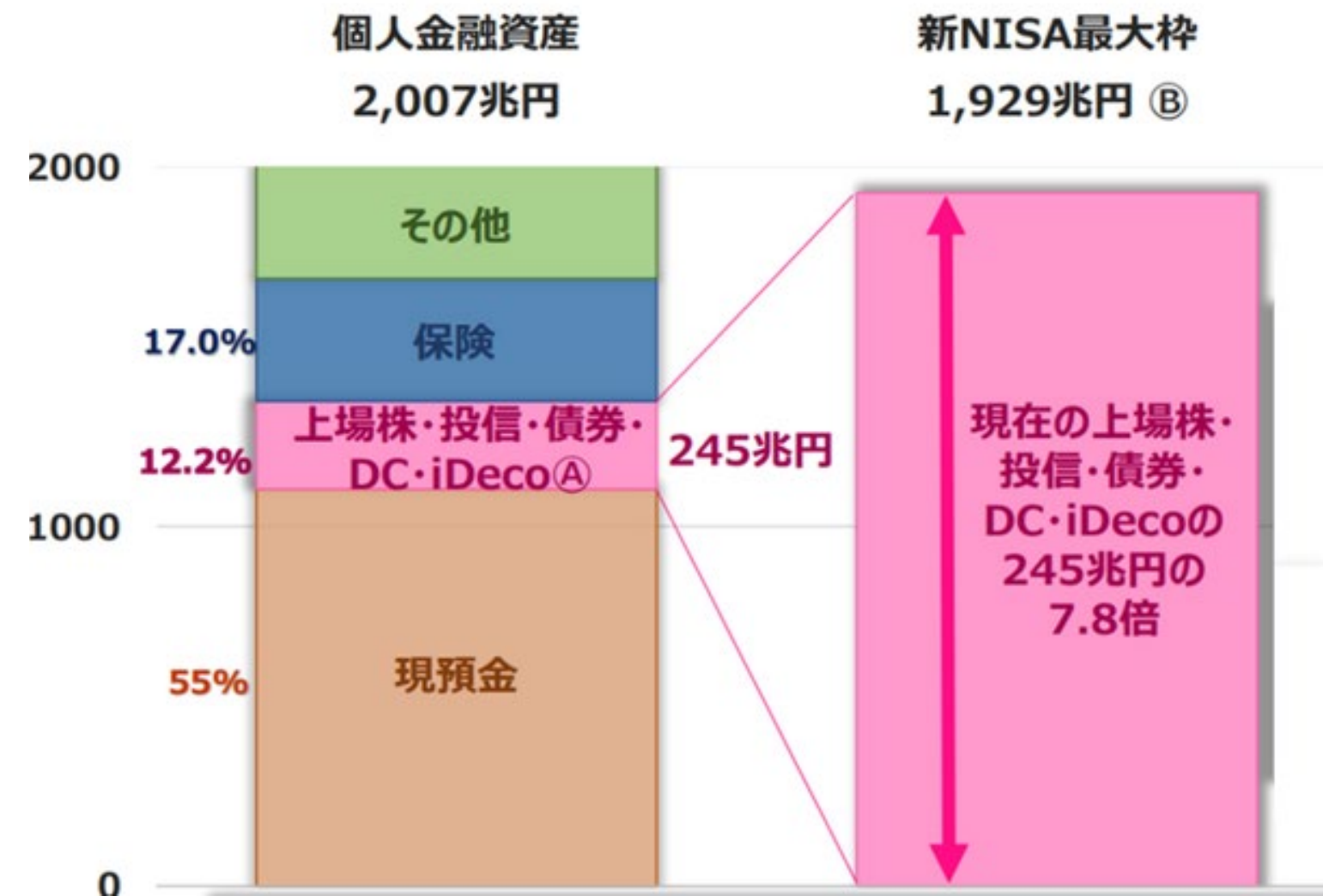
日本のDC・iDeCoの未来！



(注)1ドルは147円(2022年末)で換算 (出所) WFE、ICI、各種レポート等

出典：日本証券業協会 (<https://www.isda.or.jp/about/teigen/tougi/shisankeisei202309.pdf>)

新NISAがもたらす将来的なインパクト



結論

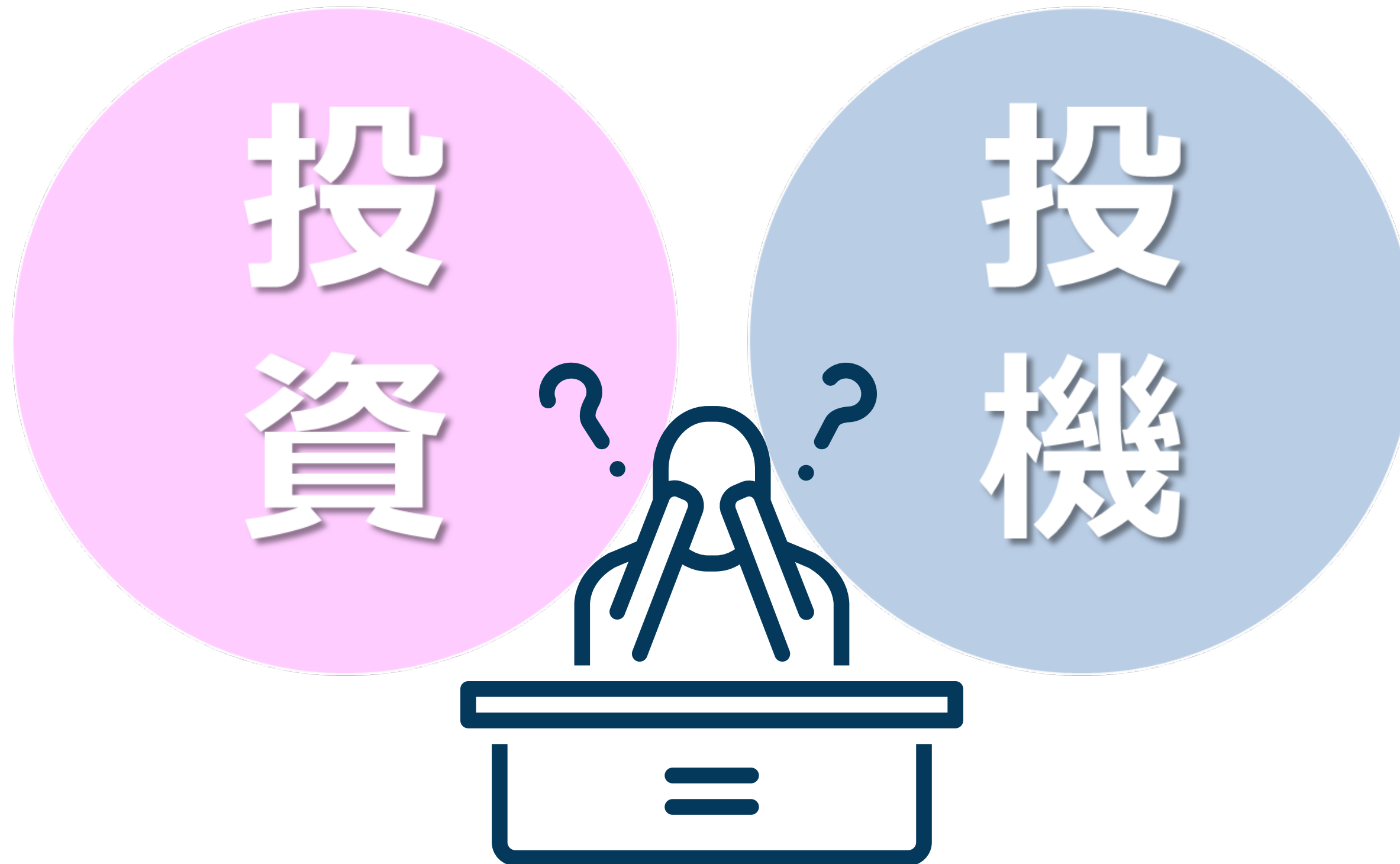
- ・ 2022年10月の日本の成人人口 = 10,720万人
- ・ 1,800万円 × 10,720万人 = 1,929兆円
- ・ 新NISAの総枠は現状の個人投資額の7.8倍

- アメリカのDCCの毎月の上限額は30万！
（日本の55,000円の5.4倍以上）
- イギリスISAの非課税保有限度額は無制限
（日本は1,800万円）

※20年～30年遅れている日本はいずれアメリカ、イギリスのレベルまで制度が拡大していく！？

資産運用の実践！

投資と投機の違いはわかりますか？！



資産を増やしていく方法

- ①NISA・DC税制優遇のある資産形成制度
- ②債券運用や保険商品もタイミングが良ければGOOD！

NISAの「運用益非課税」とは

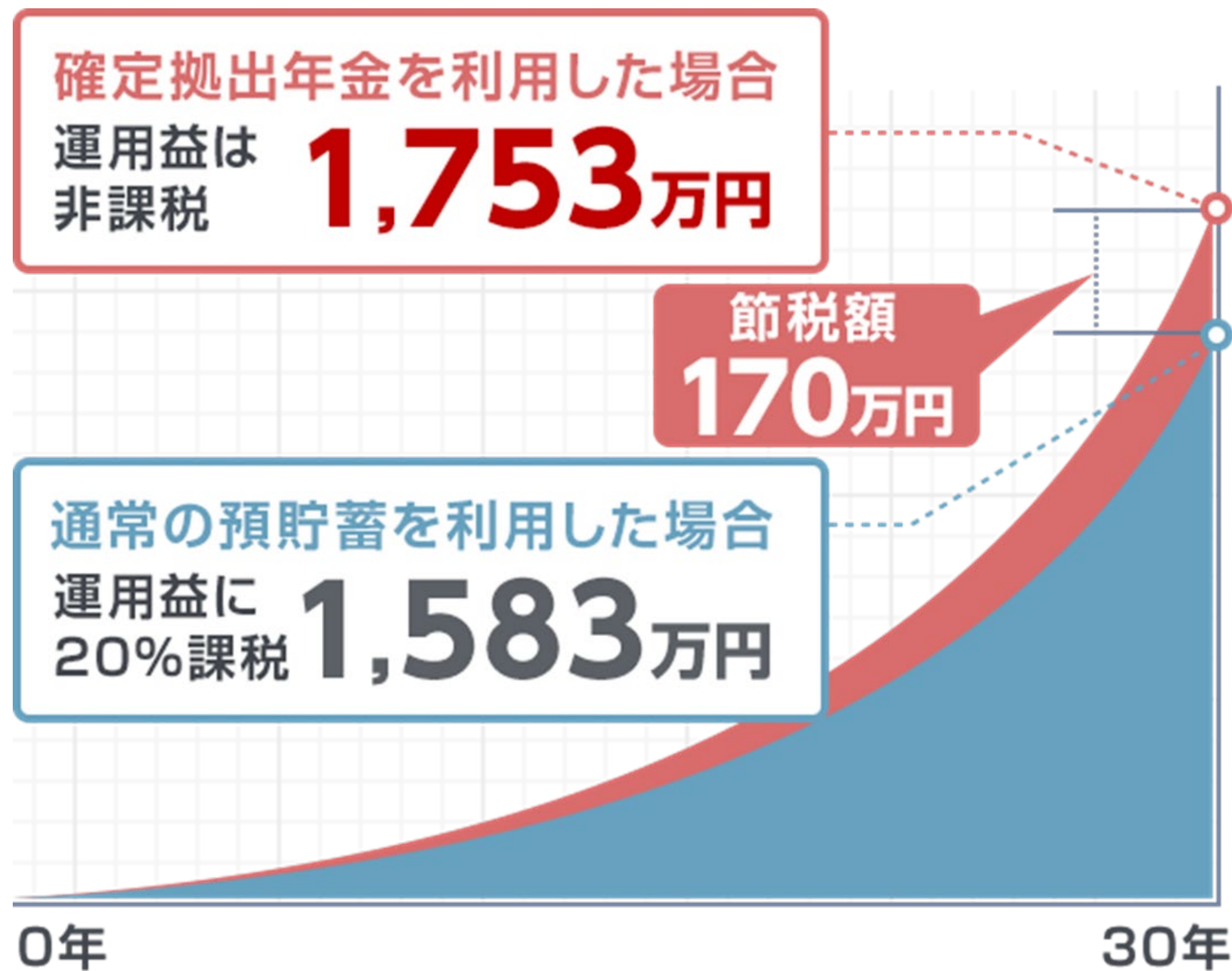
100万円の利益が出たとき・・・

一般の投信口座で運用

NISA口座で運用



DC・iDeCoは運用益が非課税（※受取時には税金はかかります）



※ 月々3万円を積み立て、年3%で福利運用した場合

投機ではなく

着実に
増やす

投資先
(投資対象の
厳選)

増やすなら

なるべく
非課税で

利用制度
(NISA・DC・
iDeCo)

増やすには

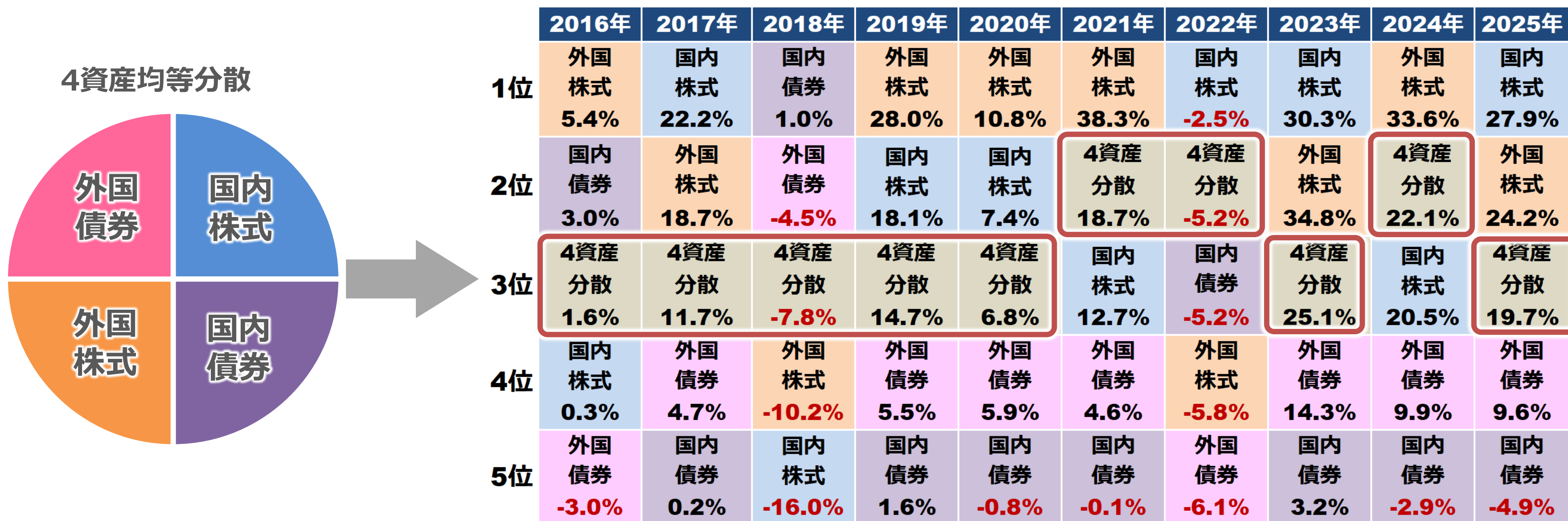
なるべく
長期で

積立・運用計画
(積立とスポッ
トの組合せ)

あなたにとって、最適な運用プランとは？



■ 資産別の単年度リターンによる順位 (2016年～2025年)



国内株式：東証株価指数（TOPIX、配当込）
 外国株式：MSCI-KOKUSAI(G)
 ※4資産分散は、上記指標の平均値として算出

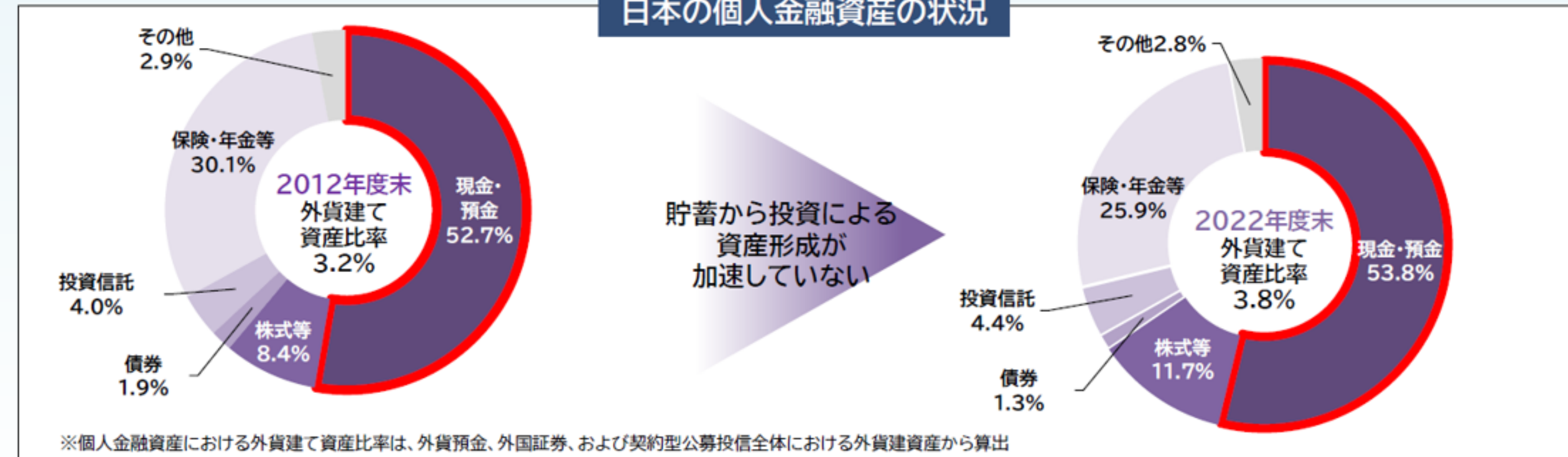
国内債券：NOMURA BPI
 外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本）

海外資産に振り向き始めたGPIF

GPIFのポートフォリオ



日本の個人金融資産の状況



出所：日本銀行、GPIF、一般社団法人投資信託協会のデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報であり、将来の動向や投資成果を示唆・保証するものではありません。

NISAと NISAで購入できる商品

	つみたて投資枠	併用可	成長投資枠
年間投資枠	120万円		240万円
購入方法	積立		一括・積立
非課税保有期間 (注1)	無期限化		無期限化
非課税保有限度額 (総枠) (注2)	1,800万円 ※簿価残高方式で管理 (枠の再利用が可能)		
			1,200万円 (内数)
口座開設期間	恒久化		恒久化
投資対象商品	金融庁が指定した基準を 満たす投資信託		上場株式・投資信託等 (注3)
対象年齢	18歳以上		

NISAは銀行や証券会社で口座を開設する必要があります。
開設したい金融機関を選び、申し込んでください。

(注1)利用者それぞれの非課税保有限度額については、金融機関から一定のクラウドを利用して提供された情報を国税庁において管理。

(注2)非課税保有期間の無期限化に伴い、定期的に利用者の住所等を確認し、制度の適正な運用を担保。

(注3)金融機関による「成長投資枠」を使った回転売買への勧誘行為に対し、金融庁が監督指針を改正し、法令に基づき監督およびモニタリングを実施。

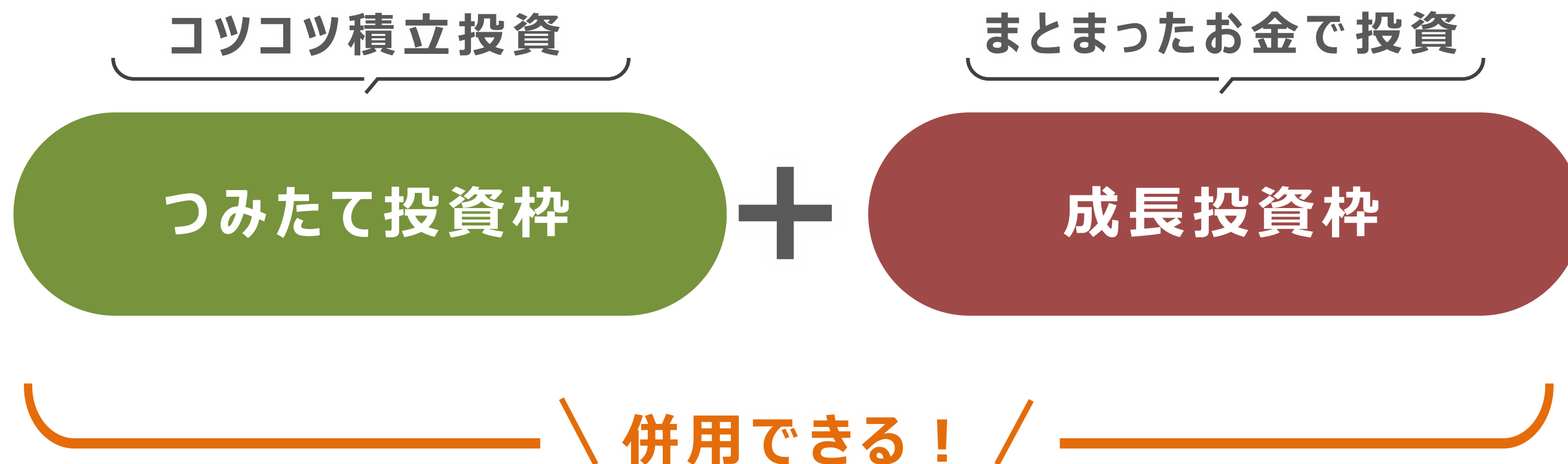
● つみたて投資枠とは

- ☑ つみたて投資枠とは、**年間120万円まで**投資が可能な非課税枠。
- ☑ 対象商品は、**金融庁の定める基準を満たした「投資信託のみ」**。「長期・積立・分散投資」に適した、低コストの投信信託のため、初心者でも選びやすい。

● 成長投資枠とは

- ☑ 成長投資枠とは、**年間で240万円まで**投資ができる非課税枠。まとまったお金を一括投資するだけでなく、**積立で利用することも可**。
- ☑ 成長投資枠は、投資信託に加えて**国内/海外の上場株式も対象**。つみたて投資枠よりも、**購入できる商品の選択肢が多い**。
- ☑ 生涯投資上限額のうち、**1200万円まで**を成長投資枠として利用可。

つみたて投資枠と成長投資枠は併用可能



目的によって、使う枠を分けるのも一つの選択肢

DCとNISAを同時に活用 ～効果的な資産形成を実現～

DCおよびNISAのそれぞれの特性を踏まえ、老後資金に備えた資産形成としてDCを活用し、ライフイベントに備えた資産形成としてNISAを活用することで効果的な資産形成を実現しましょう。



双方を活用することで効果的な資産形成を実現

企業型DCとNISAは、特徴を生かして使い分けを！

拠出した掛金で
老後資金を準備する制度

投資で得られた収益に
税金がかからない制度

		企業型DC	NISA
拠出可能年齢		最長65歳まで	上限なし (1人1口座のみ)
税制 の 優遇	拠出時	拠出金は全額非課税	—
	運用時	運用益に対して非課税	運用益に対して非課税
	受取時	公的年金等控除・退職所得控除の対象	—
資産の引出し		原則60歳以降の退職後	いつでも可
その他の注意点		75歳までの間に受取り開始	信託報酬等

つみたて投資枠対象商品の分類

つみたて投資枠対象： **357本**

2026年6月17日時点

		国内	内外	海外
公募投信	株式型	64	35	94
	バランス型	5	147	3
ETF		3	—	6

(参考) 投資信託数

2024年3月末 **ETF除く**

	投資対象地域		
	国内	海外	内外
株式	917	941	652
債券	176	885	333
不動産	156	182	77
バランス	63	151	1,116
その他	2	88	71

金融庁NISAサイト・投資信託協会より引用

投資信託

ETF

上場株式

REIT
(不動産投資信託)

等

ただし、以下に該当する商品は投資対象から除外

<以下に該当する上場株式等>

- 整理銘柄
上場廃止となることが決まっている銘柄
- 監理銘柄
上場廃止基準に該当するおそれがある銘柄

<以下に該当する投資信託等>

- 信託期間が20年未満
- ヘッジ目的以外でデリバティブ取引を利用
- 毎月分配型

● つみたて投資枠が向いている人

- ☑ 投資信託を少額からコツコツ投資したい
- ☑ 長期で安定した資産運用に取り組みたい
- ☑ 投資に手間をかけたくない人

● 成長投資枠が向いている人

- ☑ 自分の好きなタイミングで売買したい
- ☑ 一括投資のリスクも許容できる
- ☑ 自分で投資の判断をしたい人

とにかく積立投資だけ
やるつもりだから
つみたて投資枠から
始める



ケーススタディ1：つみたて投資枠から始める

つみたて投資枠

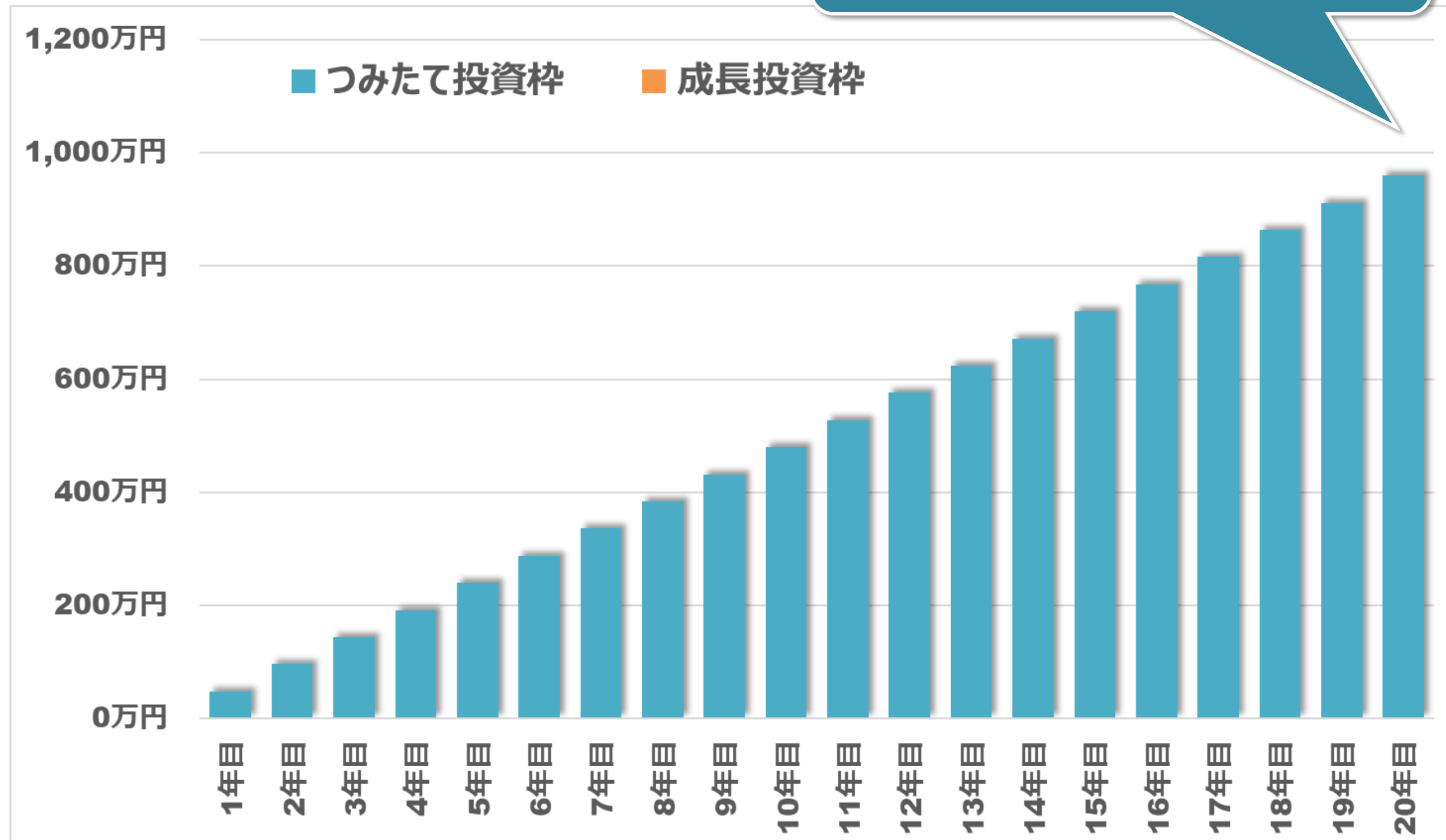
月額：4万円

積立期間：20年

成長投資枠

利用しない

月4万円を20年間積み立てても、
まだまだ枠はあります！



**成長投資枠は、
一括・積立どちらも可能。
成長投資枠は年間240万円、
最大1,200万円まで使えるので、
成長投資枠だけで管理する！**



ケーススタディ2：成長投資枠で管理

つみたて投資枠

利用しない

成長投資枠

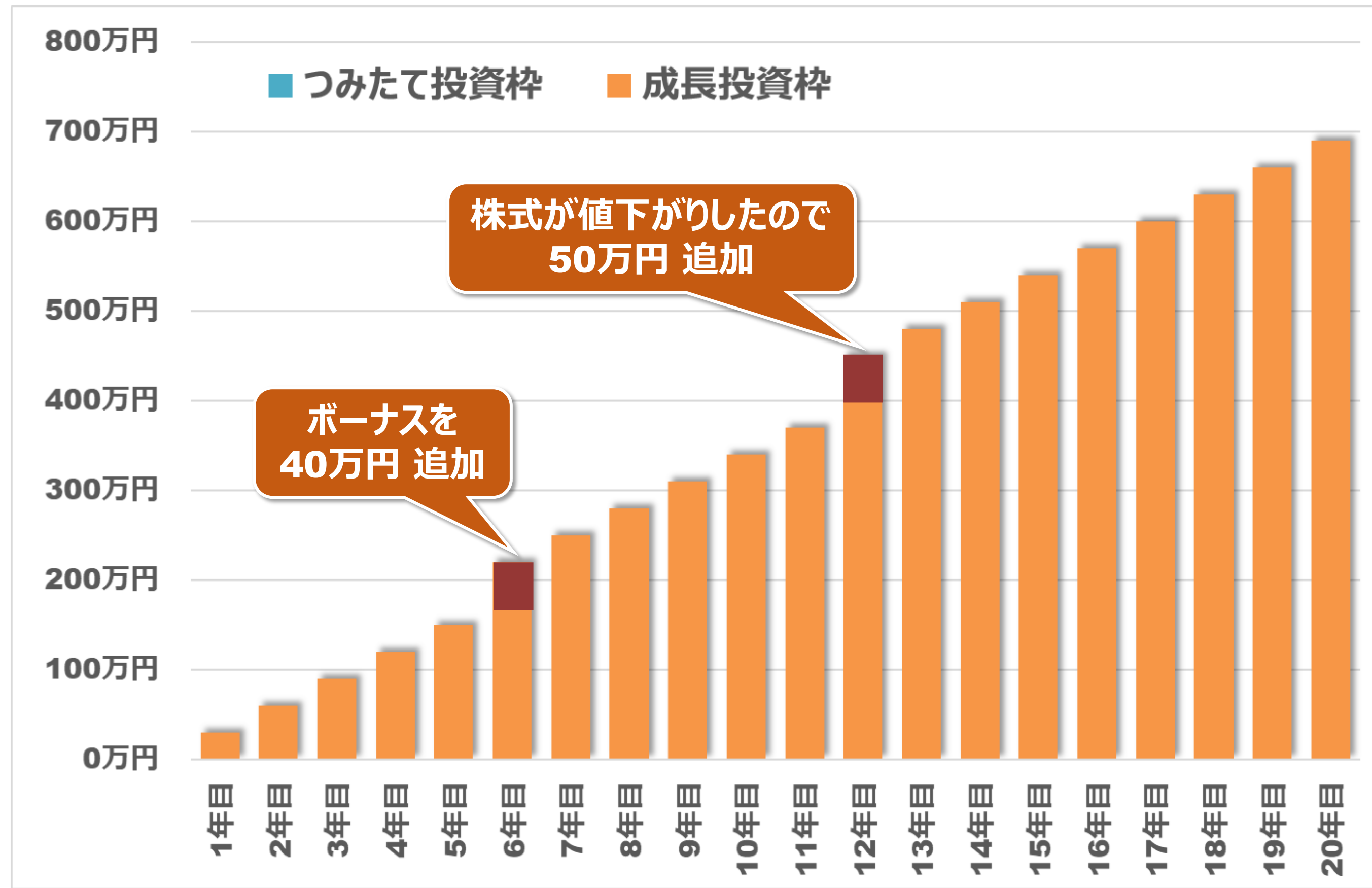
毎月3万円を積立

追加投資：

余裕のある時

値下がりしているとき

積立期間：20年



教育資金は15年後まで
積立てて引き出さないから、
つみたて投資枠で別管理。
それ以外を成長投資枠で。



ケーススタディ3：目的別に使い分け

つみたて投資枠

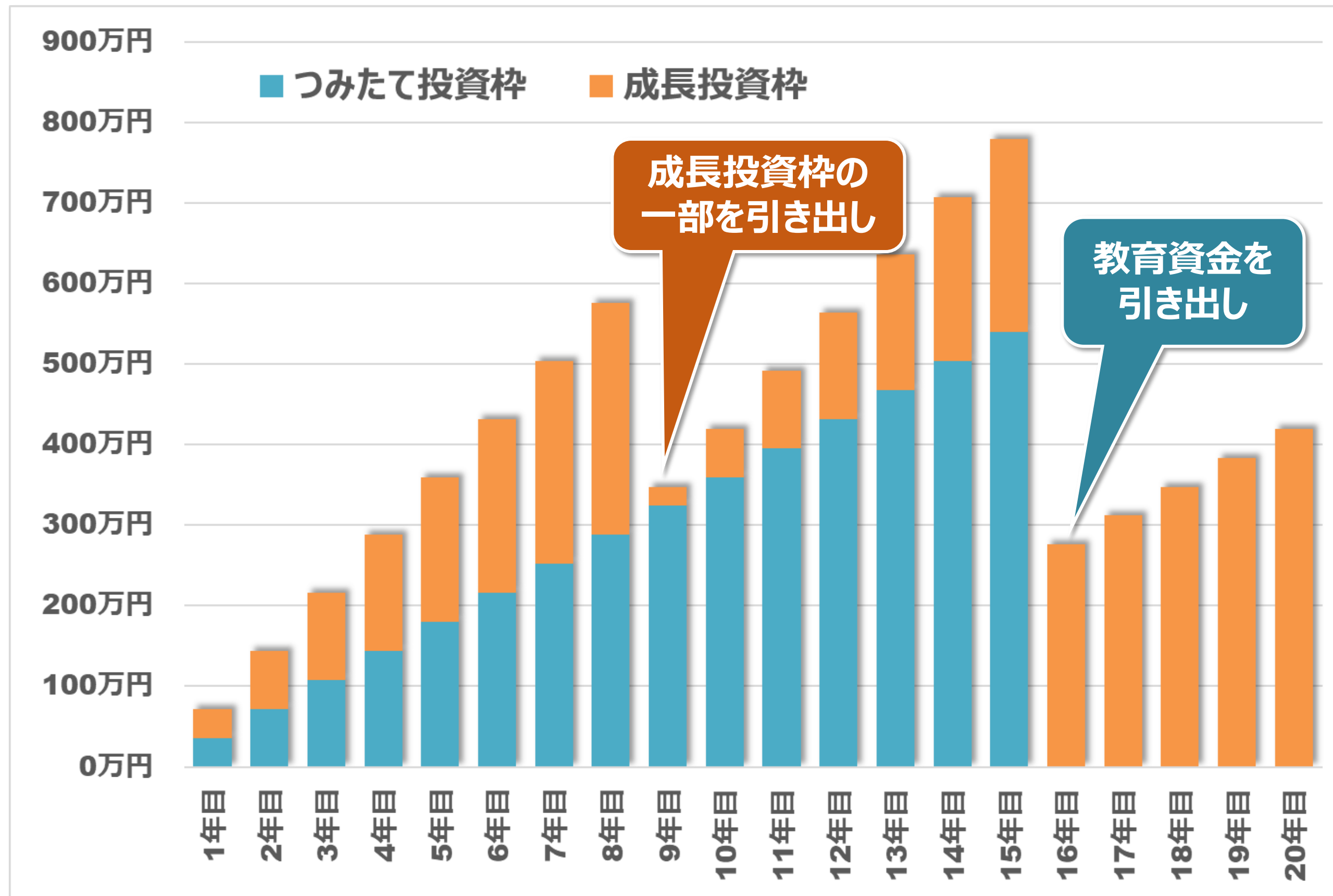
月額 3万円

積立期間：15年

成長投資枠

年額 約55万円

積立期間：20年



では実際に何を選ぶ？

日本人が最も多く購入している投資信託！

『オールカントリー』と『S&P500』

インデックス投信だけで大丈夫？

オールカントリー

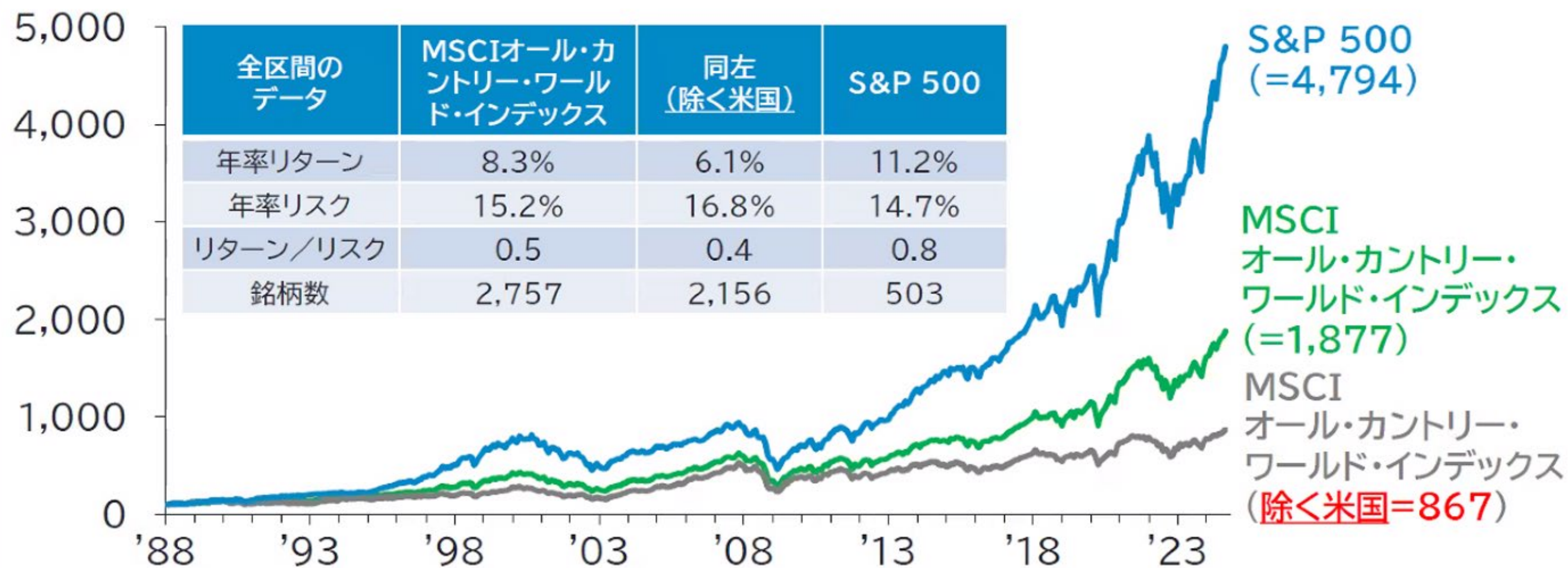
VS

S & P 500

では実際にNISAで何を選ぶ？

米国株式は全世界株式よりも「リターン／リスク」が優位。
1988年から直近までの全世界株式のリターンの半分超は米国株式から。

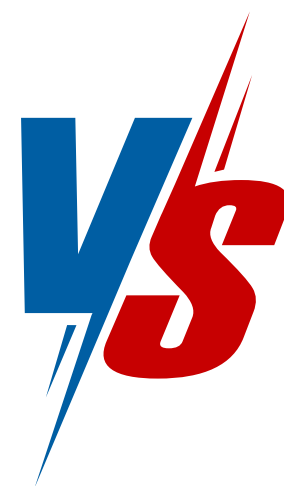
S&P 500と全世界株式指数の長期リターン比較
(配当を含む、1988年1月末=100)



(出所) LSEG、フィデリティ・インスティテュート。(注)データ期間:1988年1月~2024年8月、月次。ただし、年率リスクは1988年2月から。銘柄数は2024年8月末。

次の対決は？！

米国株式アクティブンファンド



S & P 500

(米国株式インデックスファンド)

では実際にNISAで何を選ぶ？

株価は長期右肩上がり。
ただし、**しばらくの間、停滞が続く場合**もある。銘柄選択も一案。

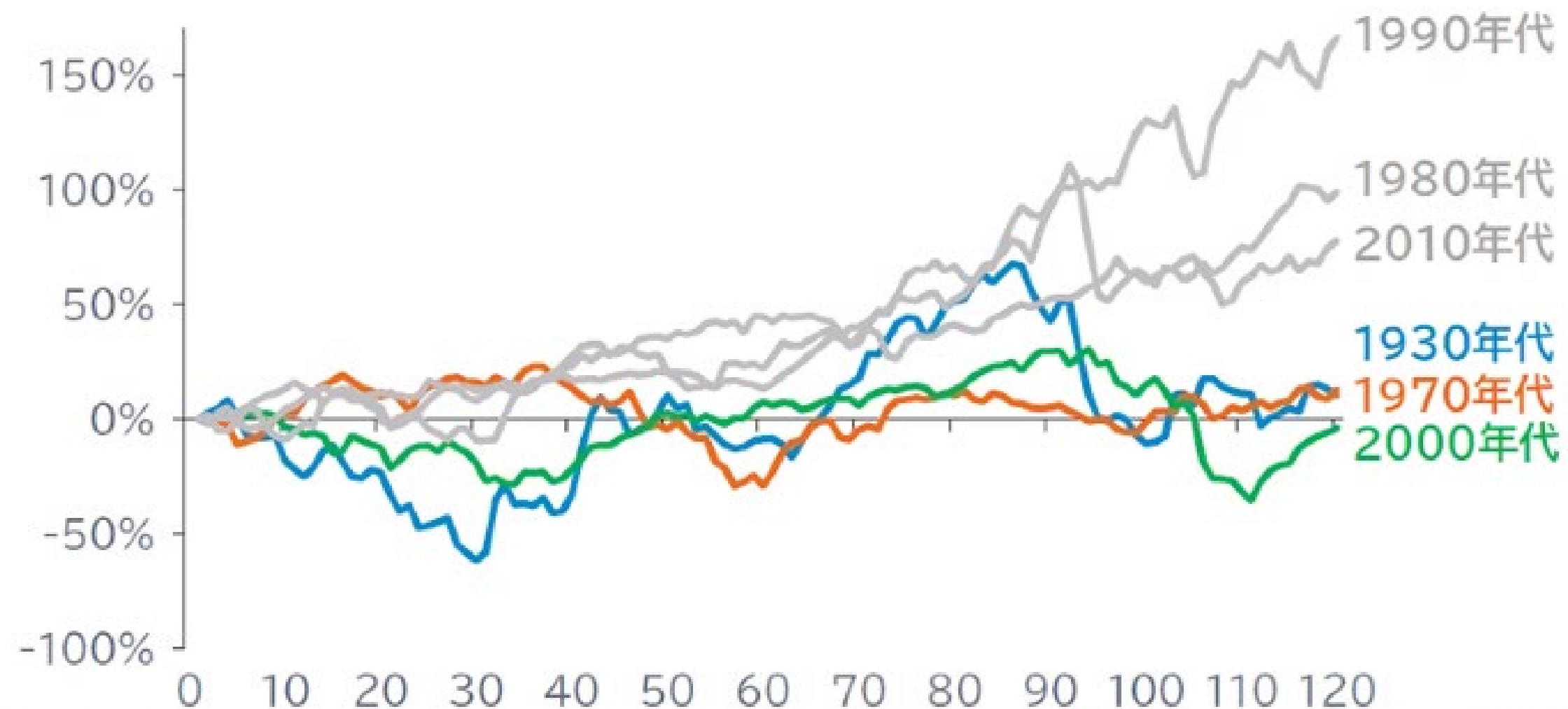


(出所)Robert Shiller、フィデリティ・インスティテュート。(注)データ期間:1910年1月~2024年7月、月次。価格リターン。価格は月中平均値。

では実際にNISAで何を選ぶ？

10年間積み立て投資をしても、リターンが低迷する場合もある。

S&P 500に10年間積み立て投資をしたときの評価損益率



(出所)Robert Shiller、フィデリティ・インスティテュート。(注)データ期間:1930年1月~2020年12月、月次。価格リターン。価格は月中平均値。

では実際にNISAで何を選ぶ？

代表的な米国株式アクティブファンドとS&P500指数との50年運用比較

50年以上にわたり幾多の危機を乗り越えてきた投資戦略

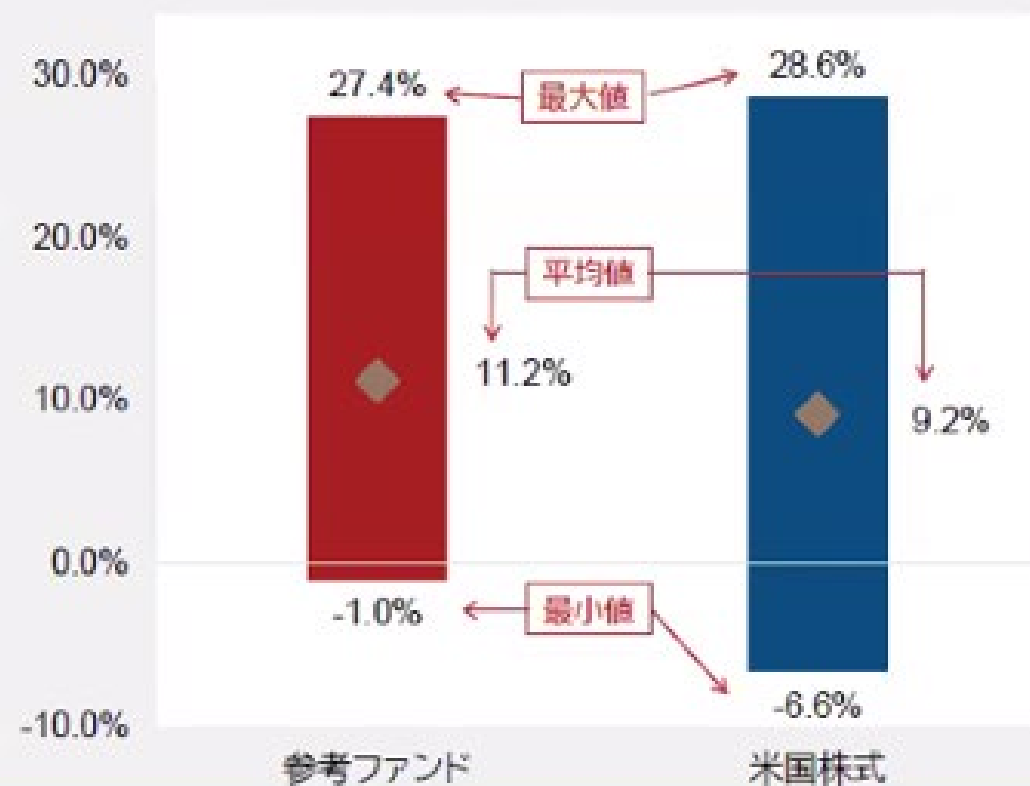


では実際にNISAで何を選ぶ？

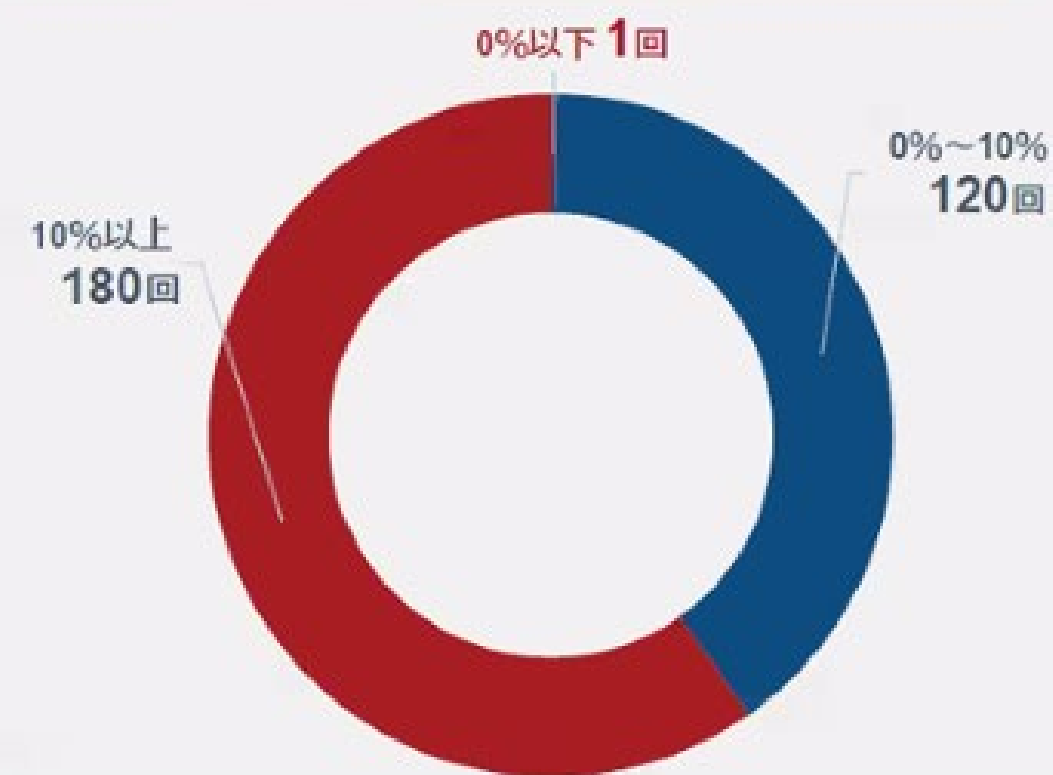
最も優れた企業の選定 下落リスクを抑制しつつ、高い収益率を実現

- 参考ファンド*は長期で見ると5年保有年率リターンがマイナスとなったのは一度しかありませんでした。
- 業界最高の経営の質と構造的な競争優位性を持つ企業を選別することで、下落リスクを抑制しつつ、高い収益率を過去実現してきました。

参考ファンド*と米国株式の5年保有年率リターンの
最大値・最小値・平均値



参考ファンド*の5年保有年率リターンの分布



※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

インデックスファンドとアクティブファンド！

バランスよく保有するのも一案！



さいごに

上手に資産形成するために
活用できる制度を知り、
ご自身で選べるようになりましょう。

第一の要素 支援があるもの

奨励金(会社からの支援)や税制優遇(国からの支援)があるもの

第二の要素 確実なメリットがあるもの

積立という「行為」に支援があるもの

第三の要素 不確実であるがメリットのあるもの

運用益は出ることもあれば、出ないこともあります。
運用益が出た場合、そこにかかる税金が非課税なもの

前提は、「長期間での活用」と「手段は全部活用」です。

主な制度と要素構成

	支援があるもの	確実なメリットがあるもの	不確実であるがメリットがあるもの
持株会	○	○	—
NISA (小額投資非課税制度)	○	—	○
旭化成DC (確定拠出年金)	○	○	○

金融機関に関わらず これからも、今のもの 最適化への個別サポート



- **DC・NISA・年金・資産全体を含めた設計サポート**
- **さまざまな制度について
商品選択と手続き方法までサポート**
- **オンライン／個別対応**